

# 山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年3月29日)  
地域部 山岳安全対策課

## 1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	46	9	1	9	36	55
令和7年	46	12	1	17	26	56
前年同期比	0	-3	0	-8	10	-1

## 2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	17	37.0%	5	1	3	13
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	17	37.0%	5	1	3	13	22
中央アルプス	5	10.9%	0	0	0	6	6
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	11	23.9%	3	0	3	7	13
その他の山岳	13	28.3%	1	0	3	10	14
計	46		9	1	9	36	55

## 3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	8	17.4%	2	0	6	0	8
転倒	2	4.3%	0	0	2	0	2
病気	5	10.9%	3	0	0	2	5
道迷い	11	23.9%	0	0	0	15	15
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	4.3%	1	1	0	0	2
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	10.9%	1	0	0	4	5
不明・他	13	28.3%	2	0	1	15	18
計	46		9	1	9	36	55

## 4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5	22	0	0	0	2	2	8	7	30
20代	1	0	1	11	13		0	0	0	4	4		17	
30代	1	0	0	3	4	55.0%	0	1	0	1	2	53.3%	6	54.5%
40代	3	0	2	1	6	12	0	0	0	0	0	3	6	15
50代	2	0	1	3	6	30.0%	0	0	1	2	3	20.0%	9	27.3%
60代	1	0	2	3	6	6	1	0	2	0	3	4	9	10
70以上	0	0	0	0	0	15.0%	0	0	0	1	1	26.7%	1	18.2%
計	8	0	6	26	40		1	1	3	10	15		55	
比率	72.7%						27.3%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（3/23～3/29）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
	発生なし					

山岳安全対策課からのアドバイス

**先週県内では、山岳遭難の発生はありませんでした。**

街中はポカポカ陽気で、春真っ只中といった感じですが、高山はまだまだ雪が残る厳しい環境です。

特にこの時期は、一日を通して雪面の状態が大きく変化します。朝晩の冷え込みでカチカチに氷結した雪面は、日中の気温上昇と日射でシャーベット状に溶けます。

落石や湿雪雪崩に警戒しつつ、足下の状態を確認しながら確実に歩を進めるとともに、必ずアイゼンとピッケルを携行し、冬山装備で登山に臨みましょう。

中央アルプス千畳敷カールでは、毎年雪面でアイゼンとピッケルがない上、スニーカー等の軽装で八丁坂を上り、装備不足で下山不可能となる遭難事案が発生しています。

ロープウェイ駅から見上げれば、宝剣岳の雄大な山塊は間近に感じますが、そこにたどり着くには、観光地と冬山の境界を超えなければなりません。

**自身の装備・技術・体力を過信せず、冷静に判断することが重要です。**